

## 建コン協北陸支部活動報告(議事録)

件名	令和3年度 富山県土木部との意見交換会
日時	令和4年2月22日(火)(※コロナ禍のため書面開催)
会場	富山県庁
出席者	○富山県土木部 建設技術企画課 城光寺課長、畠山主幹、牧田主任 ○協会北陸支部富山事務所 渡辺副支部長、柴田富山地域委員長、泉富山地域委員

### ◆意見交換

#### 1. 令和年度 委託業務の発注状況について

- ・令和3年度の委託業務の執行状況について。

##### 【富山県】

- ・令和3年度土木部における委託業務(測量・土木コンサル・地質調査・補償の4部門)の発注状況(4~12月まで)は、対前年度比10.0%減の568件。金額は、対前年度比2.8%減の35億8千万円。なお土木コンサルでは、対前年度比12.7%減の276件、金額は対前年度比5.2%増の23億4千万円。

#### 2. 令和4年度 土木部予算について

- ・「ポストコロナ」を踏まえた経済活動の拡大を見据え、全国的に多発している災害への対策、公共インフラ整備・更新・維持管理は必要不可欠であり、計画的かつ安定的な事業量の確保を要望。
- ・令和4年度予算の動向、予算に係る主な取り組み事業、重点施策について。

##### 【富山県】

- ・令和4年度土木部予算(案)は、公共事業では15ヶ月予算で国の公共事業費関係の対前年度比(94.6%)と同様となる約841億円を確保できる見込み。
- ・国補正予算を積極的に活用し、令和4年1月補正予算において、インフラ施設の老朽化対策など「防災・減災、国土強靱化のため5か年加速化対策」の計画を実現するため予算を確保した。
- ・これにより、橋梁などインフラ定期点検や計画的な修繕・更新による老朽化対策などを推進する。

#### 3. 地域の担い手づくりのための地域コンサルタントの活用について

- ・当協会は、富山県土木部と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、県内の有事発生時には災害対応等に従事。
- ・通常時・災害時を問わず富山県内の地域コンサルタントの活用を要望。

##### 【富山県】

- ・原則県内企業を主としている。
- ・また、高度な技術力を要する設計業務についても、県内企業の受注機会の確保や技術者の育成に配慮し、県内企業が参画する取り組みを進めている。

#### 4. 担い手確保・育成への取組について

- ・当協会では、担い手の確保・育成は働き方改革とともに喫緊の課題であると認識。
- ・取組の一環として県内大学における学園祭等への出展、建設産業のPR誌「TSUKURU」への参画。
- ・これまで以上の担い手確保・育成に係る活動を推進するため、当協会の更なる活用を要望。

##### 【富山県】

- ・県内高校へのPR動画、PR誌の配布や県内大学生を対象とした現場見学会を実施。
- ・近年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっている県内大学における学園祭等への建設業ブースの出展については、今後も貴協会にも協力いただきたい。
- ・担い手確保は喫緊の課題であり、建設産業の働き方改革の推進や生産性の向上につながる施策の推進、魅力のPR等に取り組んでいく。

#### 5. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取り組みについて

- ・業務の一時中止、履行期間の延長措置など県の支援に対して感謝。
- ・当協会も、時差出勤、テレワーク等を積極的な導入・推進。
- ・効率的な業務遂行の一環として、WEB会議システムを活用しているが、様々な効果がある反面、課題も発生。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた富山県の取り組み、今後の方針等について。

##### 【富山県】

- ・履行期間の延長などの措置は、今後も継続して対応していく。
- ・WEB会議システムは、業務の打合せや検査の際に活用している。今後の活用についても貴協会と意見交換しながら、引き続き取り組んでいきたい。

#### 6. 多様な入札契約制度の試行導入・運用について

- ・令和元年6月の品確法の改正により調査・設計業務が品確法の対象として明確に位置付け。
- ・富山県でも近年の多様化する業務内容を踏まえ、一部業務ではプロポーザル方式を適用するなど新契約方針の導入が図られているが、指名競争方針が発注の主流。
- ・国土交通省では「標準的な業務内容に応じた発注方式事例」を定めた運用、地域コンサルタントの技術力が図れる仕組みを導入促進が図られている
- ・富山県においても上記運用指針にもとづき、業務内容・業務規模等を考慮の上、プロポーザル方式・総合評価落札方式等の多様な入札契約方針、地域コンサルタントに限定した発注業務の試行を要望。

##### 【富山県】

- ・建築分野の設計で高い技術力を要する業務、課題に対する提案を求める業務では、プロポーザル方式を実施している。
- ・地域コンサルタントに限定して発注業務については、原則、県内企業を指名する取り組みを続けており、多様な入札契約方式の導入は、北陸地方整備局の事例や他県の導入状況を参考にしながら検討していく。

## 7. 富山県設計業務等成績評定について

- ・平成18年に「設計業務等成績評定要領」を定め運用開始して、令和3年3月には要領を改定、4月1日より新考査基準に基づき1件の契約が200万円以上の委託業務に対して評定点を付与。
- ・当協会員は、本評定点の向上を目標に、技術力の研鑽、効率的な業務対応を実施。
- ・過去3ヶ年の業務評定点の平均点、最高点及び最低点の公表と本評定点の今後の活用方針について

### 【富山県】

- ・委託業務の成績評定は、業者選定において活用している。
- ・委託業務の平均点などの成績評定の公表は今後検討していく。

## 8. 生産性向上に向けた ICT 技術の導入・活用推進について

- ・今後の ICT 技術活用の導入・運用及び生産性向上へ向けた取り組みについて。

### 【富山県】

- ・ICT技術活用のため講習会などの開催については、ICT測量機器などの操作を体験できる現場体験会を開催しており、この取り組みを通じて、ICT技術の活用促進に努めたい。
- ・CIMの活用は、貴協会を通じて、県内の建設コンサルタントのCIMの導入状況や実施を把握しながら、生産性向上に向けたCIMの利活用について検討していく。

## 9. 労働環境改善・働き方改革への取り組みについて

- ・当協会では、魅力ある建設産業の実現に向け、従来の働き方を見直す取り組みを推進・強化。
- ・労働環境改善に向け、以下に示す取り組みについて要望。
  - ① 履行期限の平準化と適切な履行期限の設定・確保
  - ② ウィークリースタンスの全業務への適用・特記仕様書への明記
  - ③ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
  - ④ 改正労働基準法遵守のための長時間労働解消

### 【富山県】

- ・ウィークリースタンス等の労働環境改善・働き方改革への取り組みは、発注所属に対して意識向上に努めるようお願いしており、引き続き、推進していく。
- ・令和4年4月以降の指名通知に係る契約から、事務の改善のため、設計業務等検査要領等で定めている「検査の立会い」について、「照査技術者」の立会いを不要とした。
- ・今後とも働き方改革と生産性向上に向けた取り組みを進めていく。